

## おまえの家

歌・詞・曲：中島みゆき

※アルペジオでB・3・2 1・3 (Am7 D7 G Em Am7 D7 G G↓)

Am7 D7 G Em Am7 D7 G Em

雨もあがったことだし おまえの家でも ふっと たずねてみたくなった

Am7 D7 G Em Am7 D7 G (B21・3) C (B21・3) G↓

けれどおまえの家は なんだかどこかが しばらく見ないまに 変わったみたい

Am7 D7 G Em Am7 D7 G Em

前にはとてもおまえが 聞かなかった音楽が 投げつけるみたいに 鳴り続けていたし

Am7 D7 G Em Am7 D7 G (B21・3) C (B21・3) G↓

何よりドアを開ける おまえがなんだか…と 言いかけて おまえもねと言われそうで黙り込んだ

Am7 D7 G Em Am7 D7 G Em

昔 飼っていた猫は 黒猫じゃなかったね 髪型もそんなじゃなかったね

Am7 D7 G Em Am7 D7 G (B21・3) C (B21・3) G↓

それはそれなりにたぶん 似合ってるんだらうけど 何だか前の方が…と 言いかけてとめた

Am7 D7 G Em Am7 D7 G Em

言いだせないことを 聞きだせもせず 二人とも黙って お湯の沸く青い火を見ている

Am7 D7 G Em Am7 D7 G (B21・3) C (B21・3) G↓

何を飲むかとぼつり おまえはたずねる 喫茶店に来てる気はないさ

Em Bm C (B21・3) D7 (B21・3) G Bm Em C B7↓

ねえ昔よく聴いた あいつの 新しい ロードがと わざと明るく切り出した時 お前の涙を見る

Am G Bm Em Em↓

ギターは やめたんだ 食っていけないもんなと それきり火を見ている

Am7 D7 G Em Am7 D7 G Em

部屋の隅には 黒い皮靴がひとつ くたびれてお先にと休んでる

Am7 D7 G Em Am7 D7 G (B21・3) C (B21・3) G↓

お湯のやかんが わめきたてるのを ああと気がついて おまえは笑ったような顔になる

Am7 D7 G Em Am7 D7 G Em

何気なくダンスにたてかけたギターを あたしはふと見つめて 思わず 思わず 目をそむける

Am7 D7 G Em Am7 D7 G (B21・3) C (B21・3) G↓

あの頃のおまえのギターは いつでもこんなに磨いてはなかったよね

Em Bm C (B21・3) D7 (B21・3) G Bm Em C B7↓

あんまりゆっくりもしてはられないんだ 今度また来るからと おまえの目を見ずに言うと

Am G Bm Em Em↓

そうかいつでも来てくれよと その時 おまえは 昔の顔だった

Am7 D7 G Em Am7 D7 G Em

コートのを立てて あたしは仕事場へ向かう 指先も衿元も冷たい

Am7 D7 G Em Am7 D7 G (B21・3) C (B21・3) G↓

今夜はどんなにメイジャーの歌を弾いても しめっぽい音をギターは 出すだろう